



かけ 懸 はし 橋



日米合同による鮭の稚魚放流（奥入瀬川）

もくじ

| | |
|-----------------|---------|
| ■ 第1回定例会 | 2～4ページ |
| ■ 一般質問 | 5～10ページ |
| ■ 新議員の顔ぶれ | 11ページ |
| ■ 編集後記 | 12ページ |

おいらせ町環境美化条例など制定

ごみのポイ捨て、ペットのふんの放置禁止



雨のなか行われた全町一斉春の清掃運動

平成十九年第一回定例会は、三月二日から九日までの八日間の会期で開かれ、町環境美化条例の制定、人権擁護委員の推薦など、議案三十四件、諮問二件、議員発議一件が上程され、いずれも原案のとおり可決・同意しました。

また、八日、九日には予算特別委員会（柏崎利信委員長）を開き、平成十九年度的一般・特別会計当初予算の審査の結果、本会議において可決しました。

主な議案の内容

◆おいらせ町環境美化条例の制定

町民一人ひとりの環境美化意識の高揚を図り、快適で安心して暮らせるまちづくりを推進する。

◆人権擁護委員の推薦

・**金田 卓也**（上明堂）

・**岩崎 幸子**（三川目）

平成十九年六月三十日をもって任期満了となるため、引き続き推薦するもの。

◆教育委員会委員の任命

・**加藤 正志**（本村）

平成十九年五月十一日をもって任期満了となるため、再任するもの。

◆おいらせ町副町長定数条例の制定

地方自治法の一部改正に伴い、副町長の定数を一人とする。

◆おいらせ町立児童館条例の一部を改正する条例

南部児童センター建設に伴い、当センター開館と同時に秋堂児童館を閉館する。

◆おいらせ町訪問看護ステーション条例の一部改正

国民健康保険おいらせ病院の付帯事業とする。

◆おいらせ町コミュニティセンター条例等の一部を改正する条例

暴力団等に不当な利益をもたらさないよう、町有施設の利用を制限する。



完成まぢかな南部児童センター

補正予算

◆一般会計

補正額は、一億八千四百六十五万四千円の減額で、総額は百億九千五百七十七万一千円。

歳出の主なものは、事業精査によるもの。

◆奨学資金貸付事業特別会計

百三十八万五千円を追加し、総額は一千五百六十九千円。

・貸付金収入及び寄付金を基金へ積立て。

◆霊園事業特別会計

十一万円を追加し、総額は一千四百四十三万七千円。

・事業精査による。

◆公共下水道事業特別会計

一千二百三十六万四千円を減額し、総額は十三億六千八百八十万八千円。

・事業費の減額。

◆訪問看護ステーション特別会計

三百四十万五千円を追加し、総額は一千四百五十九万七千円。

・訪問看護車両の更新。

◆農業集落排水事業特別会計

七十六万円を減額し、総額は九千四百八十九万七千円。

・事業精査による。

◆病院事業会計

収益的収入及び支出を百十二万二千円減額し、総額は九億二千六百四十七万七千円。

資本的収入及び支出を七百五十九万五千円減額し、総額は八千三百四十六万五千円。

◆介護保険特別会計

五千十八万五千円を減額し、総額は十五億一千七百四十五万三千円。

◆老人保健特別会計

七千二百三十五万五千円を追加し、総額は十五億八千九百七十五万九千円。

・入院患者の増加に伴う医療費の増額。

第一回臨時会

一月十日

主な議案の内容

補正予算

◆おいらせ町表彰条例の一部改正

・特別功労表彰に係る町議会議員の在職年数を二十四年から二十五年に改める。

◆一般会計

補正額は、二百六十万円の追加で、総額は百一億八千四十二万五千円。歳出は、幸橋補修工事費の追加。

◆幸橋（木内々地区）補修工事請負契約の一部変更契約の締結について

・変更契約金額
二百五十六万九千三百五十円の増額
(変更後の契約金額
五千七百四十八万四千三百五十円)
・契約の相手方
(株)三村興業社



臨時会

平成19年度 一般会計予算

87億6千9百40万円

前年度比14.1%減

3月8日、9日に議員全員による予算特別委員会を開会し、平成19年度予算の審査を行い、9日の本会議において原案のとおり可決しました。



柏崎予算特別委員長

◆歳入の主な内容

○ 個人住民税は、定率減税の廃止と税源移譲により、二十八・九%の増。固定資産税においても新築家屋の増加により増額。

○ 地方特例交付金のうち、減税補てん特例交付金は、定率減税の廃止により減額となり、所得譲与税も税源移譲によって廃止となる。

地方交付税のうち、普通交付税は一・四%の減、特別交付税は、合併移行に係る特別の財政需要分が減額となることから十六・五%の減。

◆歳出の主な内容

○ 町債については、合併特例事業債のうち、地域振興基金の造成事業の終了による借入れの減により、五十七・三%の減。

○ 投資的経費

・ 奥入瀬西回地建替事業
・ 消防ポンプ自動車購入
・ いちよう公園整備事業
・ 生活関連道路施設の整備
・ 街路灯整備事業等。
・ 南部児童センター建設

事業等の終了により、前年度比十五・三%の減。

○ 義務的経費

・ 人件費については、議員定数の減により、三・四%の減。
・ 扶助費は、児童手当費用が制度拡充により増額となっているが、障害者の施設訓練等支援費等は、自己負担の導入により、全体で、二・一%の減。
・ 公債費については七・七%の増。

平成19年度 各会計の予算状況

(単位：千円)

| 会計別 | | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 差引増減 |
|--------------|----------------|------------|------------|------------|
| 一般会計 | | 8,769,400 | 10,210,200 | △1,440,800 |
| 特別会計 | 国民健康保険特別会計 | 2,606,075 | 2,197,385 | 408,690 |
| | 老人保健特別会計 | 1,502,317 | 1,467,013 | 35,304 |
| | 奨学資金貸付事業特別会計 | 17,107 | 11,492 | 5,615 |
| | 公共下水道事業特別会計 | 1,223,443 | 1,352,342 | △128,899 |
| | 農業集落排水事業特別会計 | 101,048 | 93,806 | 7,242 |
| | 介護保険特別会計 | 1,521,300 | 1,538,052 | △16,752 |
| | 霊園事業特別会計 | 13,721 | 14,043 | △322 |
| | 訪問看護ステーション特別会計 | 0 | 10,933 | △10,933 |
| 公共用地取得事業特別会計 | 49,847 | 46,006 | 3,841 | |
| 計 | | 7,034,858 | 6,731,072 | 303,786 |
| 公営企業会計 | 収益 | 901,047 | 869,696 | 31,351 |
| 病院事業会計 | 資本 | 124,300 | 117,371 | 6,929 |
| 総計 | | 16,829,605 | 17,928,339 | △1,098,734 |



西館 芳信 議員

「頑張る地方応援プログラム」への我が町の対応は

のであれば、真剣に取り組んでいただきたい。このプログラムに対する町長の所信を伺いたい。

答弁 頑張る地方応援プログラムの趣旨は地方のやる気をひきだし、魅力ある地域をつくる事業について財政支援をするということであり、当町といたしまして、

よりよい地域づくりに向け積極的に活用してまいります。

しかし、具体的内容など詳細についてはまだ国、県から正式な説明がないので、今後、内容が明らかになり次第、順次取り組んでまいります。

質問 昨年十二月総務省は、少子化対策や企業誘致等の活性化対策に取り組み自治体に地方交付税を上乗せする「頑張る地方応援プログラム」を発表しました。これを我が町が真剣にとらえ、政府に我が町のプロジェクトを策定して、かつアピールして評価獲得を努力し、これが達成された暁には、それなりの財政に役立つこととなり、それが合わせて町の発展につながる

質問 「頑張る地方応援プログラム」の中には少子化対策が充実しているのか、また、どんな施策でやっているのかという観点があります。

甲洋小学校の地区において、かつては昭和三十年代、百石小学区と甲洋小学区では、児童数の比率は一〇〇対八〇ぐらいと聞いています。それが今では甲洋小学区の児童数が三分の一まで落ちてしまつて、十九年度に入學する児童が二十六人と聞いています。

町内会の地域間の格差があるということ、町内会での地域格差の是正をどのように考えているのか伺います。

答弁 甲洋地区の具体的少子化対策について、今年度、甲洋地区において

厚生労働省の事業として放課後児童クラブを開設し、三年生以下の低学年を対象とし、一教室を使用して遊びや生活の場を与え、健全な育成を図ってきたが、平成十九年度は教育委員会部局において、文部科学省の放課後子ども教室と厚生労働省の放課後児童クラブを一体的あるいは連携した総合的な放課後対策として、新たに放課後子どもプラン事業を創設し、推進することとしています。

この事業により、家庭状況を問わず、一年生から

六年生までを対象とし、従来の一教室から二教室に拡大し、地域の人材を講師とする体験活動を盛り込むなど、さらなる充実を図るものであります。

当事業は「頑張る地方応援プログラム」要件に合致するものとして、今後、国、県から正式な制度の説明があり次第、支援事業として速やかに取り組んでまいります。

中学校二学期制について

中学校二学期制

月六日になるなど、これまでと比較し早すぎる気がしないでもない。現場の先生方、保護者の反応はいかがか、伺います。

答弁 第一点目の学校二学期制について、平成十八年度は百石中学校において試行として二学期制を実施しております。

まず、学校二学期制の有効性につきましては、

学習活動のゆとりを確保できること、授業時間数を増加を確保できること、適正な評価が可能であること、学習の連続性が確保できること。さらには児童と教師の接する時間の増加の確保があげられます。

一方、短所については、課題としては、一回のテストの範囲が広くなること、通信票が三回でいたものが二回になって学習定着度の判断がこれで良いかということ、夏休み明けに前期のテストが実施されるので夏休み中に子どもたちがゆったりと過ごすことができないので

次、「ゆとり教育に対する見直し」の機運が高まりつつあるが、三年生にあつては、卒業式が三

はないかと言われている。三学期制を二学期制に変えようということですから、みんなで意識の変革というものが必要だろつと考えております。

なお、平成十九年度は、管下八校のうち、木ノ下中学校を除くすべてが学校二学期制に移行します。

次に、二点目の中学校卒業式の時期について、

県立高校の入学者選抜制度が変えられたものから、早い段階に卒業式をやらざるを得ないと考えまして、三月六日に実施しております。

学校としては、高校進学まで一カ月以上の学習活動の空白が出てきます。学年末は青少年の問題行動の発生が高いものがあり、苦慮しているところでもあります。

一方、保護者の方としても留守家庭になるなど、いろいろ課題を抱えております。教育委員会でも議論しながら、当町の中学校の学校教育を阻害しないよう真剣に考えてまいります。



吉田 絹恵 議員

夕張市は氷山の一角ではないか

質問 今、国地方を問わず将来の財政事情を展望しますと今より良くなる要素は少なく、ますます厳しさを増すと思われる。分権時代にふさわしい市町村の使命をどのように構築、対応しているのか、財政について、

答弁 自主財源を少しでも増やす展望について答えます。自主財源の主なるものは地方税であります。今年度から税源移譲に伴い町税の課税額が増額となる見込みであります。

十七年度の決算では国保税を含めた滞納額が約六億円と膨らんでおり、滞納整理システムを導入することにも、町税等収納対策本部を強化し収納率の向上を図ってまいります。

人口の増加と定住促進の推進は税収の増につながることから、市街化調整区域に住宅を建設する場合の規制緩和であります。

①自主財源を少しでも増やす展望を問いたいと思います。
②人件費の抑制、物件費の見直し、さらに補助費の見直し、さらに事業の効率化についての現状を問いたいと思います。

事務事業の効率化についてですが、人件費については、定員適正化計画に基づき最少の採用に務め、また、土日に出勤した職員については振替休暇を与えるなど、時間外勤務手当の削減を実施しているところであります。

物件費については合併時において事務補助員である臨時職員を削減しております。

事務事業の効率化については、事務事業の緊急性や効果の見込み、将来の財政負担の見直しなど、今後は行政改革懇談会の答申を受け、提示された方針に基づき経費の削減を図り、行財政運営に努めてまいります。

質問 人口三万人を目標としておられる町長に伺います。人口を増やすためには、未来に展望のある若い人達が住みたくな

少子化問題を町のスローガンに

るような町づくりが必要と思います。子どもを生み育てる環境について伺います。

答弁 十九年度において町の少子化対策のビジョンとなる、おいらせ町次世代育成支援行動計画を策定することとしております。

健やかに産み育てる環境、子育て家庭を支援する仕組みづくり、教育環境を含め取り組んでまいります。



子どもから青年が健やかに育つ環境を

百石高校生の卒業を祝って





佐々木 四樓 議員

〇七年度の一般 会計当初予算編 成の基本方針と 行財政運営は

質問 県内四十市町村の借金総額は〇五年度末で八千二百億円を超え、財政規模の一・三倍以上。一方、貯金である基金残高は五百四十六億円（〇六年度当初予算段階）一九九五年度からほぼ半減し、底が近づいていると報じられている。

わが町として、〇七年度において新町建設計画に基づき、住民サービスの向上を図るために予算執行の主要施策である五年計画の集中改革プ

ンをもとに、「新町行政改革大綱」の策定等その実現にむけた財政基盤の方策について伺いたい。

答弁 新年度予算の歳入においては平成十一年度から実施してきた定率減税の廃止と税源移譲により、住民税の税率が一律六％になり、課税額が約一億六千万円増額の見込みとなることから町税等収納対策本部を強化し、収納率の向上に一層努めてまいりたい。しかし、税源移譲に伴い所得譲与税と減税補てん特例交付金が廃止になり、また、地方交付税についても合併移行に係る包括算入分が平成十八年度に比べ減額となり、新型交付税も試算した結果、少しは増額となるものの、交付税全体では減額となることから大幅な歳入不足が生じております。このような状況を踏まえ、歳出においては既存事業の費用対効果の再点検を行いスクラップ・アンド・ビルドの徹底を図り経費の効

率化に務め、最小の経費で最大の効果が得られるよう創意工夫を求めています。

市街化調整区域 緩和エリア拡大 による定住化対 策について

質問 わが町は一月三十日、旧下田地区の市街化調整区域の一部一一・九ヘクタールを一定の条件を満たせば住宅、店舗を建築できる区域として指定した。昨年四月に旧百石地区の市街化調整区域の一部を同様に指定済みで、旧下田地区でも指定することで合併後の土地利用のバランスを図り、開発規制の緩和を進める

ねらいである。これを受けて、わが町として今回の指定を契機として地域の住民の理解と協力を得ながら町外への流出や、進む少子高齢化に歯止めを

かけるために、人口増加の重要施策である若者等の定住化対策と今後の方向性について伺いたい。

答弁 既存集落において少子高齢化の進行や定住人口の減少等により地域コミュニティの維持が懸念されることから、これらの地域課題の解決、地域社会の活性化と人口増加を図るための方策の一つとして旧百石町と旧下田町の指定済みの合計

面積三七九・八ヘクタールの開発行為を許容したものであります。このことにより今後は一般住宅の建築はもとより兼用住宅、共同住宅及び店舗が一定要件を満たせば建築可能となったことから、更なる区域指定の見直しなどの検討を行い、市街化区域とのバランスを保ちつつ既存集落の維持発展と秩序ある土地利用を図りながら定住人口の増加に努めてまいります。

面積三七九・八ヘクタールの開発行為を許容したものであります。このことにより今後は一般住宅の建築はもとより兼用住宅、共同住宅及び店舗が一定要件を満たせば建築可能となったことから、更なる区域指定の見直しなどの検討を行い、市街化区域とのバランスを保ちつつ既存集落の維持発展と秩序ある土地利用を図りながら定住人口の増加に努めてまいります。

コメの生産調整 に努力する農家 への支援策は

質問 〇七年度産米から新需給調整システムを適用し生産者が主体的に生産調整に取り組むこととなっているため今後、各市町村の生産者や農協担当者らが今回の情報を基に年度内に生産調整の方針をまとめることになっ

ています。平成十九年度からは国からの需要見通し等の情報提供に基づき、今後は地域水田農業ビジョンの見直しによる米の計画的生産と、当町の地域特性を活かした転作作物の定着化と産地づくりを進めていく考えであります。

いる。このことから、わが町として農家がコメ産地として生き残るためには品質の高位平準化に取り組み、需要実績を伸ばすことなどが不可欠である。よって、生産調整に協力する農家への支援策など新システムの円滑な運営について伺いたい。

答弁 農家への支援策といたしましては、一つ目として米政策改革推進対策、二つ目として品目横断的経営安定対策、三つ目として農地、水、環境保全対策を推進してまいります。次に新システムの運営体制といたしましては、農業者、農業団体が主体的に需給調整を行うシステムへの移行の実現であります。

平成十九年度からは国からの需要見通し等の情報提供に基づき、今後は地域水田農業ビジョンの見直しによる米の計画的生産と、当町の地域特性を活かした転作作物の定着化と産地づくりを進めていく考えであります。



開発規制が緩和された秋堂地区



日野口 和子 議員

通学、生活道路の整備について

質問 通称、夏堀団地のある鶉久保地区は、長陸の孤島と言われ、行政の範疇外と言っても過言ではない、そのような不幸な時を経て今日に至っております。現在この団地の沿線には一五戸の住宅が建っており、通学路、生活路にもかかわらず旧態依然とした状況であり、大型トラックも日に何度となく通り雨が降ると泥だらけの悪路となり、とても二十一世紀の道路とは思えません。現行政の叡智の総力をもつてして町道認定、道路整備へと進めて下さるよう

強く要望します。

また、青葉町内サークルKの所の十字路は一旦雨が降ると大きな水溜りになり、登下校の生徒たちが大変困っています。一日も早い快適な通学路になるよう要望します。

答弁 団地に至る道路は町道であり、一部区間については未舗装となっており、未整備区間において現況と地籍図に大幅なズレがあるため境界確定が難しいことから道路整備は見送られてきました。しかし、地域住民からの整備要望も強く、今後



悪路となっている夏堀団地の道路

策定する道路整備計画において整備手法等の検討をし、これまでは手をつけてこなかったけれど、どういふ手法で計画的に整備する方向で答えていかなければならない。ここにはたくさんの方々が実際に暮らしている訳で、任んでみたい町、魅力ある町を目指しており、前向きに進めていきます。時間をかけていただきたいと思います。

また、青葉町内サークルK十字路の水溜りの箇所は県道であり、雨水排水対策の早期解決に向けて県に要望してゆきます。

町広報誌の予算の削減について

質問 合併後の行政運営に公平公正を旨として、日夜町長はじめ行政の方々が努力をしていることは強く受け止めています。

そこで、広報誌、チラシ等も踏めて削減の対象になるのではないかと。

答弁 広報おいらせ、お知らせ版は月二回の発行となっております。それぞれ一回の発行部数は八千三百部で平成十八年度の印刷製本にかかる費用は、七百八十万円の見込みです。

今年四月から広報誌の発行は月一回とし、一層の充実とともに経費削減に努めてまいります。

北部地区の公園整備について

質問 北部地区の若葉町、青葉町は人口増加の著しい所で住民側の声は「これだけ住宅が増え、子どももたくさんいるのに何故公園がないのか」という素朴な疑問を投げかけてきます。

公園整備に向けての土地の取得をする考えはないのか。

答弁 北部地区は無指定区域であり宅地開発が進み人口増加中で、公園は必要と認識しています。財源のこともあり総合的に判断し地域住民の思いというものを考慮しながら前向きに進めていきます。



公園の整備が望まれている北部地区

「おいらせ町建設計画」の 進捗状況を問う



馬場 正治 議員

① 自然や田園と調和したまちづくり

質問 おいらせ町が誕生してちょうど一年になるが、合併後に町長が唱えた六項目からなる新町建設計画の中の一つである「自然や田園と調和したまちづくり」について、

下田・百石インターチェンジ周辺の整備計画を堅持しつつ、豊かな自然とふれあい、ゆとりある生活ができるようなまちづくりを目指し、新たな土地利用計画や都市計画マスタープランなどを作成して、その開発と整備に努めると言っているが、具体的にはどのような計画がどの程度進んでいるのか。

答弁 新町建設計画では、六つの基本目標と二十七の主要施策により体系づけられています。「自然や田園と調和したまちづくり」については二事業あり、平成二十一年度の都市計画見直しを

目標としている都市計画基礎調査事業と、自然環境保全を目的とした外来魚被害対策事業の継続があります。

② 住み続けたいふれあいのまちづくり

質問 「地域に根ざした産業が活力を支えるまちづくり」について、町長が唱える「攻めの農業、攻めの水産業」の具体的な施策と計画はどのよう

に。

答弁 十三の事業を予定しており、十九年度は「おいらせタウンプロモーション(町の売り込み作戦)」事業を計画している。また現在整備中の百石漁港について、今後は関連施設の整備に着手してまいります。

質問 「奥入瀬の文化が香るまちづくり」について、県から派遣されている学校教育の支援スタッフが、緊縮財政により今年度で打ち切られると聞

③ 地域に根ざした産業が活力を支えるまちづくり

いたが、その状況は。

答弁 六戸町と二町で運営している東部上北教育研究協議会に配置している三名の指導主事のうち、県費負担の一名が引き揚げとなるため、今後は二名で運営することになります。また事務所は新年度、現在の六戸町から当町のみなくる館に移ります。

質問 「奥入瀬の文化が香るまちづくり」について、百石・下田両地区の防災行政無線放送施設の統合計画は。

答弁 防災無線については合併当初からの懸案事項であり、現在使用する周波数が異なる両地区に

⑤ 利便性の高い快適に暮らすことができるまちづくり

質問 「利便性の高い快適に暮らすことができるまちづくり」について、

百石・下田両地区の防災行政無線放送施設の統合計画は。

質問 「住民と行政の協働のまちづくり」について、自治基本条例制定の進捗状況は。

答弁 今年度は自治基本条例策定委員会の中で、まちづくりのあるべき姿について課題、施策、まちづくり等について、その要点をピックアップしております。新年度は各団体、住民にたたき台(素案)を示して意見を求め、本格的な条文をまとめてまいります。

⑥ 住民と行政の協働のまちづくり

ついて、平成十九年度に親局を整備統合し、二十年度以降各集落の固定局、戸別受信機、移動局を補助制度にのせて七、八年の計画で進めてまいります。



山崎 市松 議員

整備方針を考えた上で、道路管理者である十和田土地改良区と協議を重ね、検討してまいります。

また、この区間に接している二路線は町管理となっておりませんが、町においても限られた財源の中での道路整備を行っていることから、今後策定する道路整備計画の中で対応してまいります。

町道(広域農道)の舗装化について

て

質問 洗平町内北側にある生活道路(六戸町の境界から国道四十五号線に至る区間)約九〇〇メートルの道路整備と、この区間に接している二路線も加えた道路整備を早急に出来ないか伺います。

答弁 この道路は十和田土地改良区管理の農道で現在砂利舗装ですが、道路南側には住宅が建ち並び生活道路として利用されていることから今後の



六戸側境界からのぞむ未舗装生活道路

町道(生活道路)の舗装化について

て

質問 町道向山・洗平線と洗平西線を結ぶ約七十メートルの生活道路を簡易舗装でも良いですから早急に出来ないか伺います。

答弁 一点目の答弁と同様に今後策定する道路整備計画の中で対応してまいります。

農道整備計画について

質問 町道向山・洗平線の中間に位置する道路ですが昨年十二月二十七日のいわゆる爆弾低気圧での被害ですが町内会を通して被害届を出してあるということですが、その後の調査とか対応につ

て伺います。

答弁 三点目の場所については被害届を受け現地を確認し仮復旧を行っております。

同地区には他にも被害を受けた農道があり、ご質問の農道を含め農作業に支障がないように今後路体の整正及び砕石敷きならしを進めてまいります。

おいらせ町内すべての農道整備計画について

計画について

質問 昨年は四月十六日に役場主導のもとに道路普請を行っておりますが農道に砕石は一粒も入っておりません。一昨年の旧下田町当時は春の道路普請に需要に応じて砕石を運び農道に敷きならし整備してあります。今の時期に早急な対応が出来ないか伺います。予算がないとは言わせません。

そこで、今年の除雪費用は当初予算より、いくらかかりましたか、合わせでお答え下さい。

答弁 合併後新町としての農道整備計画については農道管理台帳作成後に今後基幹農道等の整備方針を検討した上で策定してまいります。

しかしながら、ほとんどの農道は毎年砕石等の補充を行わなければ通行、農作業に不便を来す状況でありますので、その都度、地区関係者と協議しながら砕石搬入等により対応してまいります。

また、今年度の除雪費用は既決予算額一千九百三十二万五千円に対し、二月末現在での執行済額は九十六万七千三百二十二円となっております。

町内防火用水路の管理点検について

いて

質問 平成十七年までは一年に最低一回は春の道路普請の時に泥上げ点検等を町民が行ってきましたが昨年は行われておりません。

町の説明ですと業者に渡して行うとのことでしたが実行されておりません。お答え下さい。

答弁 従来から旧下田町では、道路愛護運動として、砕石敷きならしによる砂利道補修とあわせ地域住民のご協力による側溝の泥上げや、ごみ拾いを実施してきましたが、町内の砂利道整備については、補修箇所が減少しているため、一斉砂利運搬を十七年度で廃止し必要に応じて随時対応しているところです。

また、側溝の泥上げ等は、各町内に委託し事業展開しております。その際、各町内会を支援するため世帯割り及び車両割りの助成、ごみ袋の配布等を実施しております。

新議員の紹介

任期：平成19年5月1日～平成23年4月30日



成田 芳信 (五六歳)

一川目二丁目65-369
旧百石町当選4回



成田 隆 (五六歳)

神明前139
旧下田町当選3回



吉田 絹恵 (六〇歳)

後田23-3
旧百石町当選1回



松林 義光 (六二歳)

緑ヶ丘二丁目50-1980
旧下田町当選6回



西館 秀雄 (四七歳)

深沢一丁目73-163
旧百石町当選4回



澤頭 好孝 (五四歳)

阿光坊8
旧下田町当選2回



沼端 務 (四二歳)

東後谷地71
旧百石町当選2回



佐々木 光雄 (六四歳)

一川目一丁目73-334
旧百石町当選5回



種市 恭子 (六九歳)

向山3-317
旧下田町当選2回



馬場 正治 (五五歳)

境田77-12
旧下田町当選1回



立花 國雄 (五七歳)

一川目四丁目74-876
旧百石町当選2回



川口 弘治 (四八歳)

下明堂79-50
旧百石町当選1回



柏崎 利信 (五五歳)

立蛇14-3
旧下田町当選3回



吉村 敏文 (五四歳)

二川目三丁目29-1
旧百石町当選2回



馬場 福志 (五八歳)

木崎161
旧下田町当選2回



袴田 邦彦 (六〇歳)

中下田190
旧下田町当選2回

